

鹿児島県漁海況週報

平成30年11月29日発行(11月22日～11月28日)
第2782報【旧暦：10月15日～10月21日/月齢14.5～20.5/潮汐：大潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、11月27日現在、屋久島御崎の北マイル9.3付近にあり、接岸している。

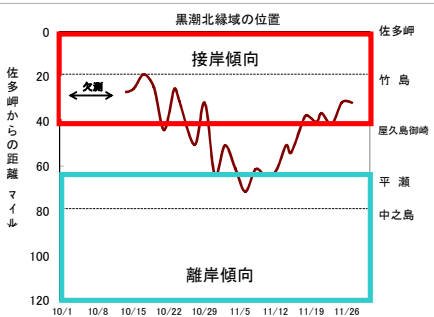
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、11月27日現在、58マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、佐多岬、竹島、屋久島御崎、甌海峡で0.2～0.5℃昇温し、その他の海域で0.1～1.1℃降温した。

平年比較では、鹿児島で“やや低め”、佐多岬、笠利崎で“やや高め”、竹島、屋久島御崎、甌海峡で“かなり高め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.0	-0.1	+0.3	平年並
鹿児島	19.9	-0.8	-0.8	やや低め
佐多岬	22.6	+0.3	+0.7	やや高め
竹島	24.2	+0.5	+1.1	かなり高め
屋久島御崎	24.8	+0.4	+1.2	かなり高め
中之島	24.6	-0.1	+0.2	平年並
笠利崎	24.4	-0.4	+0.5	やや高め
与路島	24.6	-1.0	+0.3	平年並
与論	24.4	-1.1	+0.0	平年並
甌海峡	22.6	+0.2	+1.8	かなり高め

鹿児島一那覇定期客船観測は11/27-28
串木野一甌定期客船観測は11/28

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でシラ(1～4kg)が420kg、コマサハ(600g)が300kgの入網。西薩南部海域では、コマサハ(0.2～1kg)が0.3～1トン/日、マアジ(50g)が500kg/日、ヒラソウダ(800～900g)が400～500kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、コマサハ(0.1～1kg)が0.5～2トン/日、ハガツオ(2.2～3kg)が300～400kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でハガツオ(1.5～2kg)が800尾、コマサハ(700g)が500尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で48統がサハ類中、タチウオ、ウルメイワシ主体に39トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマアジ、サハ類、ブリ主体に10.5トンの入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～10kgを5～40尾/統・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、3～9kgを25～130尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、3～8kgを15～80尾/統・日の漁。

○パッチ網

西薩海域では、カリ主体の製品で12トンの入札があった。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2733報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	3	43	薩東	14.3	9	226	0	—
		中	6	109	野間池沖 薩東長島	18.2	7	129	2	40
	枕崎	大	4	212	野間池沖 串木野沖	52.9	3	98	0	—
		中	5	143	串木野沖 野間池沖	28.6	11	236	1	11
	内之浦	中	0	—	—	—	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—
計	大	7	254	—	36.3	12	324	0	0	
	中	11	252	—	22.9	18	366	3	51	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	0	—	—	—	30	20	4	0.8	
	内之浦	0	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	48	39	サハ類中23 タチウオ14 ウルメイワシ14	0.8	49	16	52	27	
刺網	阿久根	大	1	253	薩長島 牛深沖	252.5	0	—	0	—
		小	0	—	—	—	0	—	0	—
	枕崎	大	1	22	キハダ61 カツオ小35	22.3	5	47	0	—
		小	0	—	—	—	0	—	0	—
海外旋網	山川	中	1	22	カツオ小66 キハダ22 マハチ5	662.0	1	786	1	179
	海旋	2	1324	—	—	—	—	—	—	—

○キビナゴ刺網

甌島海域では、3～12箱/隻・日の漁。種子島海域では、8箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

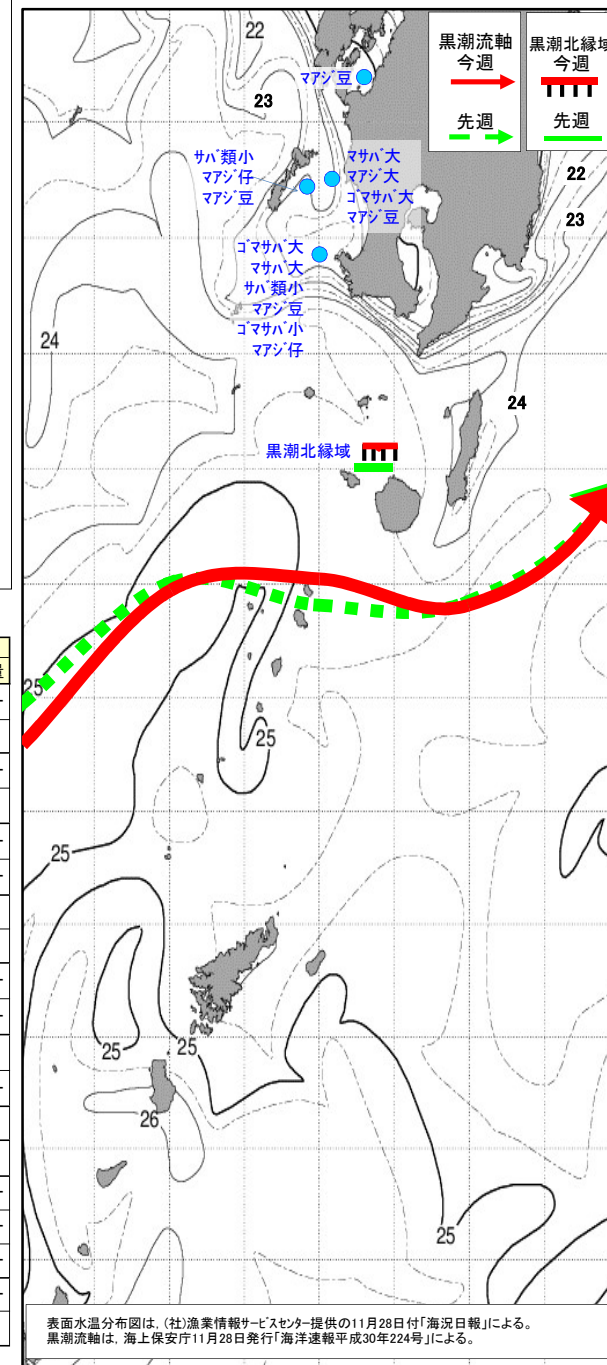
種子島海域では、中トビを30箱/統・日、大トビを10箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを7～17箱/統・日の漁。

○バショウカジキ情報

定置網では、甌島海域で21～44kgが週計で8尾の入網。

○その他

西薩海域では、底曳網でツキヒガイ(100g)を100kg/隻・日の漁。刺網でコショウダイ(2～3kg)を100kg/隻・日の漁。ごち網でマダイ(0.6～1kg)を3～50kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナカエビを50～200kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でコウイカ(200～300g)を20～30kg/隻・日、カイワリ(100～200g)を20～30kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りマダイ(5kg)を50尾/隻・日、コマサハ(600g)を30尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3～4日操業でソテイカ(胴体のみ9kg)を15ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の11月28日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁11月28日発行「海洋通報平成30年224号」による。